

# ぶらりふくい

## ふれあい広場

▽日之出区民体育祭(5月中旬) 幼児から高齢者までの区民が交流を図る。

▽ひのでふれあいフェスタ(10月中旬) 各種団体が一堂に集い、地区民とアトラクション、展示、体験、バザー、模擬店などで文化の秋を楽しむ。

▽新成人のつどい(1月上旬) 日之出小学校を卒業した地区の新成人を、当時の恩師を招いて祝う。



古宮義信館長

## 若いリーダーが活躍

JR福井駅の北東側にある福井市日之出地区。県立病院がシンボリックに立つ、市中

「ふれあいフェスタ」のお楽しみ抽選会

心部の昔からの住宅地だ。ドーナツ化現象で次第に人口が減っていたが、近年は新たに移り住む人も多い。理由は住みやすさにある。

め、利用者が通いやすい。スーパーやコンビニ、ドラッグストアも多いので、買い物しやすい。日之出公民館の古宮義信館長は「空いた土地にすぐ家が建つよ」。

「子どもをしかれる大人がない時代。地域全体で子育てができる地区にしたい」。

近、若い地域リーダーの活躍が際立つ。仕掛け人の古宮館長は「公民館のトップダウンでは限界がある。いい町にするためには、行動力と熱意のある若い人に任せるのが一番」と話す。



空き缶積み競争で盛り上がる「ふれあいフェスタ」 10月18日、福井市日之出小学校で



## 地域全体で子育て 歩

### 福井市日之出地区

## 「同じ目線で」を意識

吉川幸枝さん(52)

「待ってたわ」「やっと会えたの」。高齢者から掛けたら、民生・児童委員としても活躍する。きっかけは七年



高齢者との触れ合いを楽しむ吉川幸枝さん 福井市日之出公民館で

前、パソコンが使えることから広報紙の編集役を頼まれたことだった。

職業は看護師。自宅にも高齢の家族がいる。「高齢者と接するのが向いているんだと思います。楽しみながらやっています」と笑顔で語る。

まちづくりが好きになったきっかけは、焼きいもだった。九年前、小学校の収穫体験で余ったサツマイモの使い道を相談された。

日之出体育協会会長と、まちづくり協議会の「ミニミニ」部会長を務める。連日の会議では、日付が変わることもしばしばだ。

月に五回、地区内の高齢者を招くイベント「日の出スマイル」などに力を入れる。「意識しているのは、お年寄りと同じ目線で接すること。そうしたら、心を通わすことができると思う。毎回、楽しみに来てくれるのがうれしいんです」

「子どもたちと公園の落ち葉を拾って、焼きいもをしよう」と思いついた。当日は好評を博し、毎年の開催に結び付いた。

「やり方を考えれば人が来てくれる。そこで知らなかった人同士が顔見知りになっ

ていく。まちづくりに参加する喜びを知りました。そこから毎年「回だね」。笑顔には充実感がにじんだ。

## きっかけは焼きいも

山田年克さん(53)



楽しみながらまちづくりに取り組む山田年克さん 福井市日之出公民館で



### 日出御門跡石碑

(福井市日之出3丁目) 福井城外堀の東側にあった城門「日出御門(ひのでごもん)」の跡地を示す石碑。この門が日之出地区の名称の由来となった。

福井城には主に7つの門があり、東に位置していたのが日出御門。広場を挟んで二重の門となっていたため「中島二ツ門(なかじまふたつもん)」とも呼ばれた。この門が撤去されたのは、門内に弾薬庫があったため。明治維新になると、いち早く撤去されたという。石碑は現在、福井地方合同庁舎の前にある。



日之出地区の名前の由来となった「日出御門」跡を示す石碑=福井市日之出3丁目

### 県立子ども歴史文化館

(福井市城東1丁目) 福井ゆかりの人物を通し、子どもたちに歴史や文化を伝えるために造られた。旧県立図書館を改修し、2009年11月にオープン。昨年12月には累計入館者数が20万人を突破した。

福井の歴史で活躍した人物について、映像やジオラマ、イラストで楽しく紹介する「先人のひろば」や「白川静 漢字ワールド」「南部陽一郎 科学ワールド」など楽しさ満載。

【入館料】無料  
【休館】月曜、祝日の翌日、年末年始  
【電話】0776(21)1500



子どもたちに福井の歴史や文化を伝える「県立子ども歴史文化館」=福井市城東1丁目

## ぶらりふくい

## 人物交 差点